

令和元年12月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和元年12月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和元年12月27日（金） 13時30分～14時45分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

蔵品泰治教育長、吉楽隆一委員、庭野三省委員、佐藤美佐子委員、浅田公子委員

3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（富井敏）、教育総務課長（長谷川芳子）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：浅田委員、吉楽委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

・資料のとおり

（特に質疑等なく了承した）

② 報告第1号 東京2020 オリンピック聖火リレー新潟県内詳細ルート公表について 蔵品教育長

・事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

・資料に基づき説明

庭野委員

・前回の東京オリンピックでは、聖火ランナーの後ろに人がついて走っていた。今回は1人で走るのか。

庭野スポーツ振興課長

・今回の聖火リレーは、ランナーを中心にスポンサーなどのラッピングされた大型車両が前後に連なって、100mを超える大行列となる見込みである。

庭野委員

・新国立競技場が完成したが、聖火台はどうなるのか。何か情報はないか。

富井文化スポーツ部長

・当初から競技場と一体的に聖火台はできないと分かっている。仮設的に設置し、開会式が終わったら撤去し、夢の大橋に同じようなものを設置することが公表されているが、それ以上の情報はない。

庭野委員

- ・縄文市の関係で、縄文ネットワーク事務局から聞いたのは、聖火台は地球環境に配慮したものになり、水素ガスなどが考えられるとのことであった。

(以上の質疑のあと了承した)

③ 報告第2号 越後松之山「森の学校」キョロロ開館時間の変更について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

吉楽委員

- ・維持管理費の節減とあるが、キョロロの運営における見通しがあり、来館者がないのでこのような形で節減をするということなのか。今後は、休館日が増えたり、開館時間が短くなることから、来館者の減少によってはあり得るのか。

富井文化スポーツ部長

- ・昨年度の予算編成で、将来を見据えた予算の縮減に取り組むということから、今までの営業の状況を考慮して、来館者に応じて縮減を図れるのではないかと、過去の実績に基づいて取り組んでいるところである。来館者が減少して、さらに縮減することのないように、取り組んでいかなければならない。

吉楽委員

- ・年間では、ある時期には開館時間を延ばして、多くの人から来ていただくことが、あっても良いのではないかと思う。縮減の方向ばかりでは、限りなくそれを拡大するしかなく、できるだけプラスに考えられることが、あっても良いのではないか。

蔵品教育長

- ・正月には観光客が松之山温泉に泊まるため、キョロロは年末には休むが、1月1日から開館している。

吉楽委員

- ・文化庁のホームページを見ても、物から事によって変わってきている。地域が背伸びして色々なイベントを作るより、既存の施設に来ていただく方が良いので、そのための情報発信をしっかりとされた方が良いのではないか。

(以上の質疑のあと了承した)

④ 報告第3号 令和2年度予算要求の概要について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

樋口子育て教育部長

- ・資料に基づき説明

富井文化スポーツ部長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・リビングヒストリー、生きた歴史という言葉は、最近のものなのか。

佐野文化財課長

- ・文化庁はこの1～2年で、文化財を活用した地域活性化を図るという方向で、保存から活用という動きをしている。特に、空港からの出国税を使い、インバウンドの方を含めて、日本の歴史文化を身近に感じ、そこに人から来てもらうように、「生きた歴史体感プログラム」という補助メニューを作った。その名前が、リビングヒストリーであり、文化財を活用するというものである。

庭野委員

- ・中条笹山の縄文館を改修して調理場を作り、そこで何かをすると聞いたが、間違いないか。

佐野文化財課長

- ・縄文館を活用して縄文レストランを実施する予定であるが、厨房にするかは検討中である。

吉楽委員

- ・関連で、モニターツアーの開催と新博物館の展示などが、正にオリンピック期間と重なると思うが、新博物館と絡んでこのツアーを組むようになるのか。

佐野文化財課長

- ・基本的には、博物館を核にして各地域に回るということを目指している。リビングヒストリーも、博物館から笹山に回るという形を民間事業者がツアーを作る。例えば、清津峡を見た後に博物館へ来てから笹山へ行くような、大きなツアーも考えている。

吉楽委員

- ・民間の旅行代理店の観光コースに入ってくるようになるのか。

佐野文化財課長

- ・民間の旅行代理店が行うかどうかかわからないが、十日町市全体を回遊するようなメニューに、歴史文化を加えていただくように考えている。

庭野委員

- ・笹山の場合は、人が付いて説明がないと何だか分からないところがある。地元の語り手も居るので、方向性が決まったら早めに情報を流さないと対応できないと思う。竪穴式住居の中で、縄文時代の話の話を聞くと、多くの人感激して帰るので、早めの情報をお願いしたい。

吉楽委員

- ・新博物館などでは、外国人にはその言語に合わせた説明をするようになっているのか。パンフレットなどで読んでくださいというよりも、今はツールもあり、スマートフォンで自動翻訳できる。より深く十日町市を理解されるように、気の利いたサービスがあってもいいと思う。

佐野文化財課長

- ・博物館の展示については、デービッド・アトキンソン氏にご指導いただき、多言語においてはたくさん表示しきれないが、英語は全部の展示で表示している。展示を読むだけでなく、ヘッドセットで聞きながら見て回れるように40台用意している。

浅田委員

- ・過疎債や緊防債など聞き慣れない単語について教えてほしい。

長谷川教育総務課長

- ・事業を行う際に、市が借入れを行う種類の名前である。

蔵品教育長

- ・一般的には、借金をすると全額返済することになる。過疎債は、過疎対策事業債のことですが、過疎地域だけが借金して良いものであり、返済金の7割を国が面倒見てくれるものである。当市では3割だけ負担すれば良いという、とても有利なものである。公共施設等適正管理推進事業債は、あまり有利ではないが財源として利用できるものである。緊防債は、緊急防災減災事業債といい、災害を防ぐために行う事業に利用できる。東日本大震災の翌日に長野県北部地震があり、当市でも対象となっている。過疎債と同様に返済金の7割程度を国が面倒見てくれるというものである。できるだけ有利な借金をしながら、このような施設整備を行っている。

庭野委員

- ・4月から小学校で正式に英語の教科が始まるが、5、6年生に教える教科書を見ると担任には非常に厳しいという印象を受けた。退職された英語科教員から、学校を回ってもらえば良いのだが、英語指導が大変だと思う。

山本学校教育課長

- ・従来どおりに、教育委員会が任用している日本人の英語教育推進員で、小学校を中心に回っている方がいる。中学校にはALTが入っている。その他に、県の事業で英語専科教員配置事業というものがあり、現在英語を教科担任できる者が学校に1名配置され、4校を兼務している。来年度に十日町市に何人配置されるか決まっていないが、高学年の英語教科化に関する人的な対策というものは、県と一緒に取り組んでいる。今年の中学校の英語教員の採用幅が大きかった。中学校の英語教員の一部を小学校に配置して、英語の指導をするというような形を県教委では考えているとのことである。これまで移行措置ということで学校は準備を進めているため、万端の準備で4月を迎えられるようにしたい。5、6年生の担任の負担感はあると思うので、それを緩和するように、市教委として支えたいと考えている。

庭野委員

- ・それは分かるが、自分が学級担任になったことを考えると、とても耐えられないと思う。5、6年の他の教科を含めて、全部1人の教師が教えることは無理だと思う。プログラミングや道徳、部活動などいろいろなことを5、6年生はやらなければならず、大きな負担感があると思う。

吉楽委員

- ・学校現場でいろいろなことが起こって、改めて国が修正することになるのだろう。あくまでマンパワーの部分になるので、簡単にはいかないし、教員の採用も満たさ

れないとなると、地域の中で英語をサポートできるような広い対応が、現実的には必要になると思う。

庭野委員

- ・大学入試の英語は、実施方法が頓挫したのは、地方と中央の格差があると騒いだことがある。小学校の英語の件は、何とかできるだろうと考えて文科省の言いなりになったようだが、県や市教委が手当てしなければ、大変なことになるだろう。

蔵品教育長

- ・市教委も大きな課題感を持って取り組まなければならないと思っている。

吉楽委員

- ・プログラミング学習推進事業のところで、機器類を設置するとあるが、どんなものになるのか。

山本学校教育課長

- ・全学校に潤沢にはいかないが、プログラミングによって動作するロボットをリースすることを考えている。

吉楽委員

- ・各学校にあるパソコンを使い、プログラミングの指導は教員が行うのか。

山本学校教育課長

- ・そのとおりである。

吉楽委員

- ・この授業は楽しいものになると思う。

蔵品教育長

- ・今の話を画像などで分かりやすい資料で、説明できれば良いと思う。

(以上の質疑のあと了承した)

(3) その他

- ① 「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」の説明会の概要
- ② 最近の動きについて
 - ・各部長、各課長等が資料に基づき説明
- ③ 1月の主な行事予定について
 - ・資料に基づき説明
- ④ 次回の教育委員会の開催日時
 - ・1月定例会 28日(火) 13:30～ 川西庁舎 第1研修室

以上で、14時45分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記